

# 明治日本の産業革命遺産

## 製鉄・製鋼、造船、石炭産業

日本は、幕末における西洋技術の導入以来、西洋以外の地域で初めて、かつ、極めて短期間のうちに飛躍的な発展を遂げました。

2015年7月、鹿児島島の集成館をはじめとする、日本の産業化に貢献した資産が『明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業』として、世界文化遺産に登録されました。



「明治日本の産業革命遺産」WEBサイト

**岩手県**  
⑩ 橋野鉄鉱山

**静岡県**  
⑨ 韮山反射炉

**山口県**  
① 萩反射炉  
② 恵美須ヶ鼻造船所跡  
③ 大板山たたら製鉄遺跡  
④ 萩城下町  
⑤ 松下村塾

**熊本県**  
②⑩ 三池炭鉱・三池港  
● 万田坑(再掲)  
● 専用鉄道敷跡(再掲)  
②① 三角西港

**福岡県**  
②⑩ 三池炭鉱・三池港  
● 宮原坑  
● 万田坑  
● 専用鉄道敷跡  
● 三池港  
②② 官宮八幡製鐵所  
● 旧本事務所  
● 修繕工場  
● 旧鍛冶工場  
②③ 遠賀川水源地ポンプ室

**佐賀県**  
⑪ 三重津海軍所跡

**長崎県**  
⑫ 小菅修船場跡  
⑬ 三菱長崎造船所第三船渠  
⑭ 三菱長崎造船所ジャイアント・カンチレバークレーン  
⑮ 三菱長崎造船所旧木型場  
⑯ 三菱長崎造船所占勝閣  
⑰ 高島炭坑  
⑱ 端島炭坑  
⑲ 旧グラバー住宅

**鹿児島県**  
⑥ 旧集成館(反射炉跡、旧集成館機械工場、旧鹿児島紡績所技師館等)  
⑦ 寺山炭窯跡  
⑧ 関吉の疎水溝

### 先駆的な近代化プロジェクト

Heritage of Industrial Modernization in Kagoshima

ヒストリー

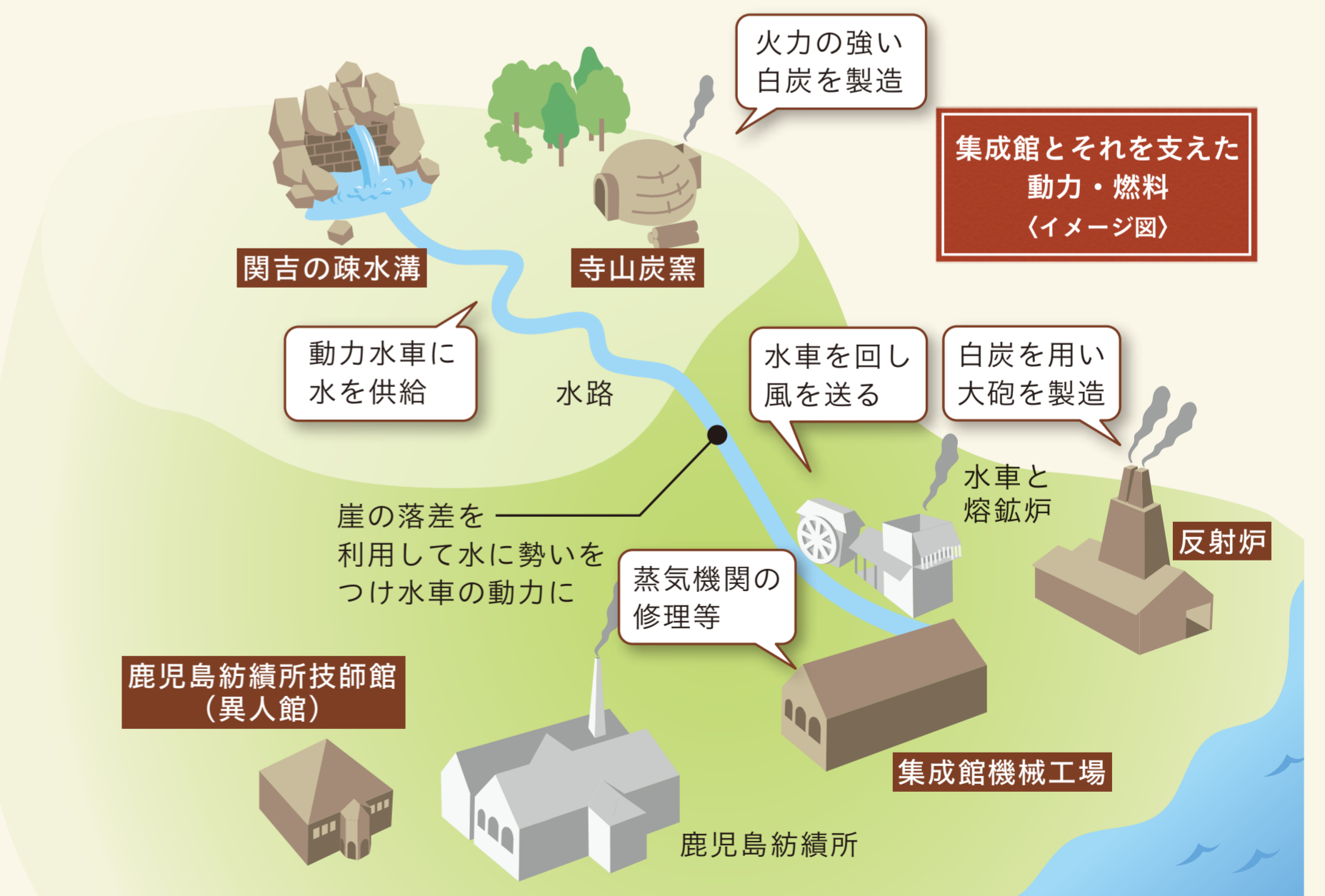
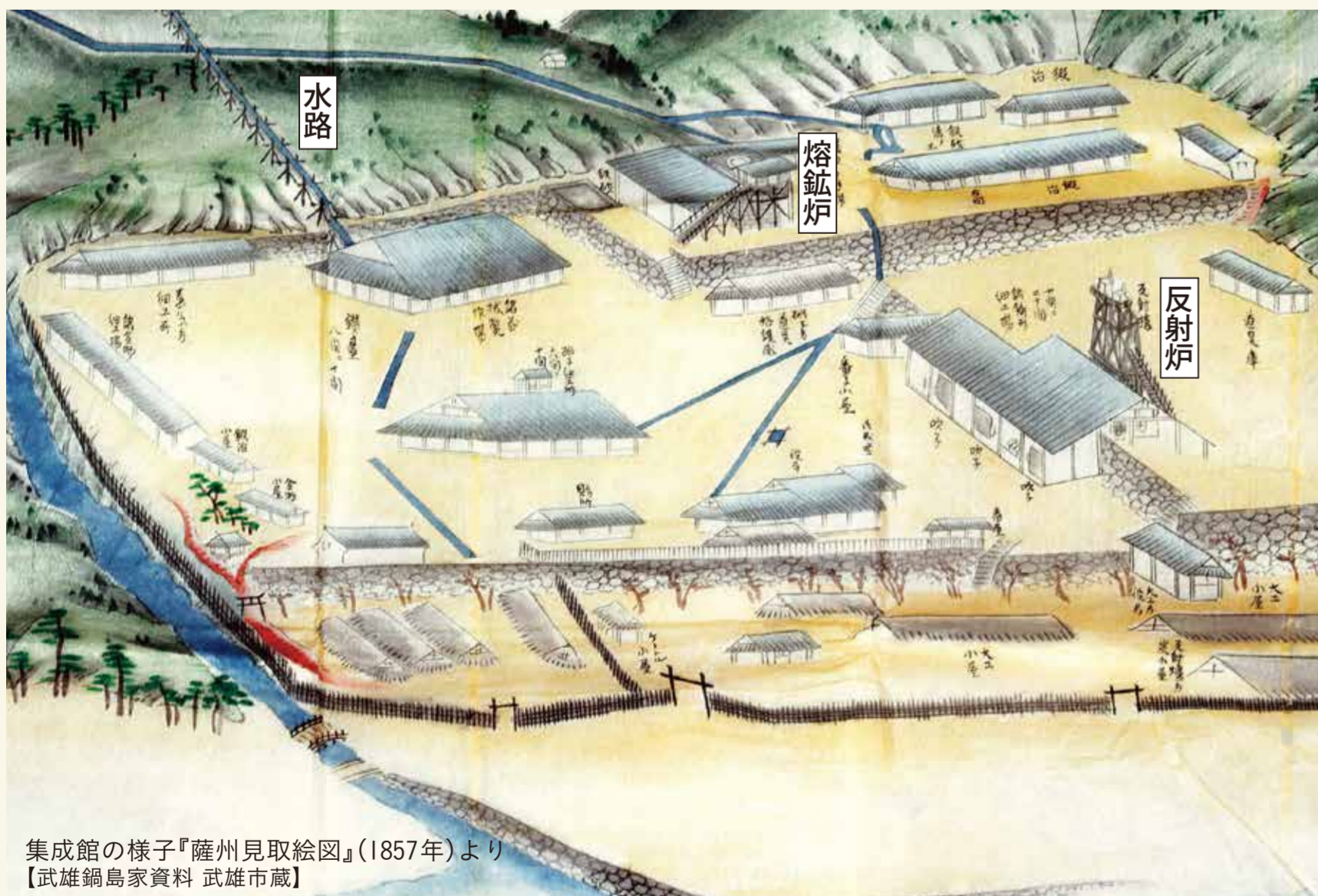
# 集成館事業

1851(嘉永4)年、薩摩藩の藩主となった島津斉彬は、仙巖園敷地の竹林を切り開いて反射炉の建設をはじめました。

そして、その周辺に熔鉱炉やガラス工場、蒸気機関の研究所などの施設をつくり、これらの工場群を「集成館」と名づけました。

集成館事業は、1858(安政5)年の斉彬の急死により一時縮小されますが、1863(文久3)年の薩英戦争でさらなる近代化の必要性を感じた薩摩藩は、イギリスとの間で、留学生の派遣や技術者の招聘を行い、積極的な技術の導入を進めました。

また、日本初の洋式紡績工場を稼働させるなど、様々な分野で、日本の近代化に大きく貢献しました。



## 世界文化遺産 - 明治日本の産業革命遺産 -

鹿児島エリア  
遺産情報



# 「集成館」旧集成館 寺山炭窯跡 関吉の疎水溝